

コン タ ク ト 先	会員機関名	一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構		
	所在地	福島県福島市光が丘1番地 福島県立医科大学 災害医学・医療産業棟210号室		
	電話	024-573-6083	FAX	
	E-mail	tlo@ftrf.jp	ホームページ	https://ftrf.jp/
提携大学		福島県立医科大学		
活動内容 アピール点		福島県立医科大学 医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター（TRセンター）で行われている、東日本大震災復興プロジェクトの1つである「福島医薬品関連産業支援拠点化事業（福島事業）」の事業・実績を受け継ぐ、後継団体として令和2年2月3日に当機構が設立されました。 設立当初は、福島県立医科大学医療－産業トランスレーショナルリサーチセンターや関連ベンチャー企業と連携し、研究開発成果の活用分野において、福島事業の研究成果物（福島コレクション®）の産業界への橋渡しする役割を担ってまいりました。現在では承認TLOとして福島県立医科大学全体の知財発掘から技術移転までを一貫して行っております。 さらに、新型コロナウイルスによるパンデミックを教訓に、「未来のパンデミックに備える」という新たなビジョン（ミッション）を掲げ、独自の事業も展開しております。具体的には、ヒトの持っている抗体を遺伝子レベルで網羅的に備蓄することにより、将来のあらゆるパンデミックに備えることを目指しております。 また、令和7年3月には南相馬市との間で医療関連分野での連携・協力に関する協定を締結し、浜通り地区におけるバイオ・知財関連の人材育成を進めております。 当機構は、承認TLOとしての技術移転活動、抗体遺伝子備蓄事業、そして教育活動を通じて、社会への公益的な貢献を目指し、積極的に取り組んでいます。		
技術移転事例		福島医薬品関連産業支援拠点化事業の成果の紹介 希少かつ有限な臨床検体を、医薬品等の開発や基礎研究に利用しやすいように“生体由来加工試料”や“解析情報”に変えて収集・保存しております。それらの研究成果は製薬企業、検査・診断薬企業、大学の研究者などに提供しており、様々な研究に活用いただいております。 患者由来凍結腫瘍組織 (F-PDX®) 網羅的遺伝子発現解析等により、ヒトがん組織の特徴を保持していることが確認された患者由来凍結腫瘍組織 (F-PDX®) を提供いたします。 ご利用者の施設で遺伝子増殖させることも可能です。また、使用期限やランニングロイヤリティもなくご利用いただけます。 がんオルガノイド (F-PDO®) 従来のがん細胞株とは異なり、ヒトの体内に存在するがん組織に近い状態を維持した培養細胞を提供いたします。一部の系統は、免疫不全マウス等に移植して遺伝・増殖させることも可能です。 がんの基礎研究やin vitroにおける抗がん剤の薬効試験等にご利用いただけます。 タンパク質マイクロアレイ解析 約16,000種類の抗原（タンパク質）が搭載されており、血中抗体の網羅的解析、抗体（抗体医薬を含む）の標的特異性の評価が可能です。また、微生物タンパク質マイクロアレイを用いて外来抗原（約2,500種類のウイルス、病原性微生物等）に対する抗体の網羅的解析も可能です。 細胞株の網羅的遺伝子発現解析データ 1,000種類以上の細胞株の網羅的遺伝子発現解析データをまとめて提供しております。実験で使用する細胞株の選択やバリデーション、薬効試験との相関解析、特定の遺伝子の発現分布の解析等にご利用いただけます。 カニクイザルの網羅的遺伝子発現解析データ カニクイザルの各種正常臓器・組織（365種類）の遺伝子発現データを提供いたします。ヒトでは決して採取できない臓器・組織のデータもござります。特定の遺伝子ごとの提供が可能です。ヒトの正常モデルとして、薬剤の標的分子の正常組織での発現分布を確認できます。 ヒトがん組織・正常組織の網羅的遺伝子発現解析データ 標的分子（特に抗体医薬の標的分子）の発現分布を確認できます。がん組織における発現分布を確認することにより、抗がん剤の薬効予測または適応拡大の可能性や、正常組織における発現分布を確認することにより副作用の予測にもご利用いただけます。 天然ヒト抗体のライセンス ヒトB細胞からクローニングした完全ヒト抗体遺伝子の情報をライセンスいたします。標的抗原に対する反応性、標的以外の抗原に対する交差性について、タンパク質マイクロアレイで評価し、特異性の高い抗体の提供が可能です。また、自己抗体から抗微生物抗体まで幅広くそろえておりますので、様々な用途にご利用いただけます。 FFPE（ホルマリン固定パラフィン包埋）検体からのRNA抽出 独自開発した方法により、FFPE検体から遺伝子発現解析可能なtotal RNAを抽出いたします。当該方法によりRNAを抽出すれば、約98%のFFPE検体が利用可能になります。また、25年以上保管されている検体からもRNAを抽出できます（実績あり）。新鮮検体との比較も可能です。また、針検体サンプルからもRNA抽出が可能です。研究室に眠っているFFPE検体、もう一度光をあてませんか？ 市販抗体格付けと3つ星抗体® タンパク質マイクロアレイによる市販抗体の評価結果を公開しております。抗体の特異性と非特異性（オフターゲット）を網羅的に評価し、優れた抗体のみを製品名とメーカーを含めて公表しております。どなたでも自由に無料で閲覧できるものですので、ご研究のご参考にさせていただきます。		